

住宅一棟当たり(約38坪)の炭素固定量

※出典：出典：大熊幹章(2003)「地球環境保全と木材利用」林業改良普及双書をもとに作成

※製材品の炭素含有量を50%、木材の比重を0.4とし、製品中に蓄えられた炭素量を積み上げて算出

※住宅モデルとしては、1985年に建築学会(環境工学委員会熱分科会)が提案した「住宅用標準問題(延べ床面積125.86㎡)」を使用

